

自治体への意見照会と対応方針(案)まとめ

自治体への意見照会

自治体意見照会の回答〔京丹後市〕

6管理第1576号
令和6年12月25日

京都府知事 西脇 隆俊 様

京丹後市長 中山 泰



山陰近畿自動車道（網野～久美浜）計画検討委員会に係る
意見照会について（回答）

令和6年12月18日付け6道計第202号で照会のありました標記のこと
について、下記のとおり回答します。

記

山陰近畿自動車道（網野～久美浜）における対応方針（案）について同意しま
す。

山陰近畿自動車道（網野～久美浜）は、本市はもとより、京都府北部、地方へ
の人・モノ・仕事の流れをつくり、本市が計画する都市拠点・地域拠点の整備と
の相乗効果、観光振興及び地域経済の発展といった地方創生を加速前進させて
いくために、欠かせない重要な基盤であります。

また、令和6年1月に発生した能登半島地震では、半島という地形的な特徴か
ら交通アクセスが限られた地域の被災が、災害対応を困難にしたとされており、
丹後半島で大規模地震が発生した場合には同様のことが想定されます。大規模
災害時には自衛隊や、他の自治体・関係団体からの人的・物的支援は必要不可欠
でありますので、防災・減災の観点からも山陰近畿自動車道の早期全線整備が必
要です。

加えて、本市の山陰近畿自動車道延伸の地先地域では航空自衛隊のほか、近畿
で唯一の米軍サイトも展開しているなど、国の安全、平和の確保の上で、他に抜
き出る国益を有しており、非常時に備えたこれら基地周辺との人的・物的なア
クセスを、大動脈として確保しておくことは、大きな国益の保全・履行とともに、
本市の国民保護計画の適切な運用の上でも重要で欠かせません。

本市としては、当該道路の整備効果を早期かつ確実に発現させるため、地籍調
査、地元調整、残土処分地の確保及びインターチェンジ周辺の効率的な土地利用
など、事業の円滑な推進に向けた環境整備に取り組んでまいります。

つきましては、当該道路整備の最大限加速化を図り、一日一刻も早く全線開通
していただきますよう、特段の御配慮をお願いします。

対応方針（案）のまとめ

1. 道路整備の必要性

【理由】

政策目標を達成できる道路整備を検討

【政策目標】

- ①持続可能で暮らしやすい地域づくり
- ②地域産業の活性化
- ③観光振興の促進
- ④事故、災害時にも機能するネットワークの確保
- ⑤安全性・走行性の向上



- 評価区間付近は、観光拠点（夕日ヶ浦温泉）、絹織物生産地及び水産物の産業拠点があり、各拠点へのアクセス向上や速達性向上が課題となっている。
- 京丹後市は、第三次緊急医療施設への車両における30分圏域人口カバー率が低水準であり、速達性向上が課題となっている。
- 国道178号、国道312号では、踏切交差・急カーブ・幅員狭小・急勾配など、道路構造に問題がある箇所が多く、雨量通行規制区間が存在する等、災害時等の救急活動に支障をきたす。
- 地域住民及び道路利用者等からは、日常生活の利便性向上、観光振興につながり、事故・災害時に強く、安全性・走行性の高い道路が望まれている。

2. 対応方針(案)

ルート帯について、【**第1案（自動車専用道路整備案（Aルート））**】を対策方針（案）とする。

【理由】

- 【第1案（自動車専用道路整備案（Aルート））】は、【第2案（Bルート）】【第3案（Cルート）】に比べ最も政策目標の達成が見込める。
- 意見聴取結果において、「①日常生活が便利になる等、暮らしやすい地域づくりにつながる道路」「③主要観光地とのアクセス向上により、観光振興の促進につながる道路」「④事故発生時や自然災害時に機能する強いまちづくりにつながる道路」「⑤交通事故の縮減や運転手の走行性向上につながる道路」を重視する意見が多く寄せられており、【第1案（自動車専用道路整備案（Aルート））】は、地域のニーズにも応えられる。
- 【第1案（自動車専用道路整備案（Aルート））】は、基礎自治体である京丹後市が山陰近畿自動車道の整備により期待している「①観光振興の推進」「②事故災害時にも機能するネットワークの推進」「③地域経済の活性化」「④子育て・教育環境の充実、人口減少対策の推進」などの支援が期待でき、基礎自治体である京丹後市からも対応方針（案）に同意が得られている。

3. その他

- 具体的な道路構造等の検討に際し、自然環境への影響、生活環境への影響、景観への影響、歴史文化への影響、事業費・維持管理費のコスト縮減等にも配慮する。

対応方針（案）のまとめ

4. ルート帯

